

イノシシの隠れ場所をなくして被害を防ぐために 整備を行った事例

事業名：里山林整備事業（鳥獣被害防止型）

市町名：尾道市

取組のきっかけ・経緯

・御調町植野地区は谷合に耕作地があり、周囲の山から下りてくるイノシシの被害に頭を悩ませていたことから、地元からの要望により整備を行った。

今後の展開

・今回実施した範囲から追加で事業を行うことで事業効果を高めるとともに、除伐を行った範囲について森林所有者や耕作地所有者による維持管理を行い、継続して整備効果が発揮できるようにする。

取組の内容

- ・事業主体：尾道市
- ・実施場所：尾道市御調町植野
- ・業務委託先：尾三地方森林組合
- ・業務量：0.69ha
- ・業務金額：1,836,000円
- ・業務期間：令和3年2月10日
～令和3年3月19日

【整備前】



取組後の感想

【良かった点】

- ・耕作地を囲うように整備を行うことができ、鳥獣被害予防効果が期待できる。
- ・住民の手では整備しきれない段階まで荒れていたが、住民の手による維持管理を行える段階まで整備することができた。

【整備後】



隣接市で連携し里山林整備を実施した事例

事業名：里山林整備事業（地域資源活用型）

市町名：尾道市

取組のきっかけ・経緯

- ・浦崎町にある灘山（福山市側呼称：眺洋山）について、地元からの整備要望に基づき検討していたところ、山頂付近に福山市との境界があることがわかった。
- ・尾道市域のみの整備では十分な整備効果が得られないことから、福山市と協力して山頂一帯の整備を実施した。

今後の展開

- ・整備した箇所について、尾道市側と福山市側双方の住民が連携して維持管理を図れる体制づくりを模索する。

取組の内容

- ・事業主体：尾道市
- ・実施場所：尾道市浦崎町
- ・業務委託先：尾三地方森林組合
- ・業務量：1.6ha
- ・業務金額：3,161,400円
- ・業務期間：令和2年11月26日
～令和3年2月9日

【整備後】



取組後の感想

【良かった点】

- ・福山市との連携により事業効果を大幅に高めることができた。
- ・尾道市側と福山市側の住民が連携して維持管理を行うためのきっかけを作ることができた。
- ・市境において森づくり事業に取り組む上でのモデルケースとなった。

【悪かった点】

- ・山頂付近の境界について、尾道市側と福山市側の見解に相違があったため、事業範囲の調整に時間を要した。

地域の象徴となる山を住民の手で整備した事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：尾道市

取組のきっかけ・経緯

- ・潮音山は旧瀬戸田町を象徴する山として住民に親しまれており、地域住民による維持管理も継続して行われていた。
- ・しかし、近年は住民の手では整備しきれない場所も増えたため、特認事業による整備と体制の強化が要望された。

今後の展開

- ・来年度も引き続き特認事業による森林整備や講習会等を実施する。
- ・潮音山公園を愛する会を中心に、今回整備した器具類を活用して地域住民による維持管理を引き続き実施する。

取組の内容

- ・事業主体：潮音山公園を愛する会
- ・実施場所：潮音山（尾道市瀬戸田町）
- ・業務委託先：尾三地方森林組合
- ・業務量：森林整備 1.2ha
森林整備活動・講演会等 4回
- ・業務金額：3,600,026円
- ・業務期間：令和2年11月21日
～令和3年3月26日

取組後の感想

【良かった点】

- ・国宝三重塔周辺の森林整備を行う事で、島の各所から三重塔を望む景観を取り戻すことができた。
- ・チェーンソー等の器具類や、それらを整備・活用するための技術について、今回の事業で整備や取り扱いの研修を行うことができたため、住民による一層の整備促進が期待できる。

【整備前】



【整備後】



日本遺産の山を住民の手で整備した事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：尾道市

取組のきっかけ・経緯

・白滝山は日本遺産を構成する史跡に選ばれる等地域の象徴として住民に親しまれ、長年住民による保全活動が行われていたが、整備に必要な機械類の老朽化や住民では整備できない箇所が増加があったため、特認事業による整備が要望された。

取組の内容

- ・事業主体：白滝山保全活用実行委員会
- ・実施場所：白滝山（尾道市因島重井町）
- ・業務委託先：尾三地方森林組合
- ・業務量：森林整備 1.2ha
モノレール整備 250m
森林整備活動・講習会等 5回
- ・業務金額：8,003,044円
- ・業務期間：令和2年11月21日
～令和3年3月26日

【整備前】



今後の展開

- ・来年度も引き続き特認事業による森林整備や講習会等を実施
- ・今回整備したモノレールをはじめとする器具を活用し、住民による森林整備を行う。

取組後の感想

【良かった点】

- ・長年の懸案であった整備用モノレールを更新することができ、山頂付近の森林整備を行う体制を整えることができた。
- ・崖上や谷下など住民による伐採が難しい箇所の整備により、住民による維持管理を行いやすくなった。



【整備用のモノレール】

【整備後】

